
K氏の話

西安

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

K氏の話

【Nコード】

N8044U

【作者名】

西安

【あらすじ】

K氏はいたって普通の会社員だった。

宝くじで億万長者になるまでは。

(前書き)

ちよつとしたショート・ショート。内容は完全にシニールです。

星新一さんの作風を真似てみました。暇つぶし程度にどうぞ。

「K氏の話」

K氏はいたって普通の会社員だった。宝くじで億万長者になるまでは。

まずK氏は会社を辞めた。うるさい上司、面倒な同僚たちと離れたかったからだ。

次に豪邸を買った。今まではアパートの一人暮らしで不自由だったのが元だ。

しばらくしてK氏のことがつわさになってくると、K氏の元へ女たちが擦り寄ってきた。

もちろん財産目当ての女ばかりだったが、それでもK氏はある女と結婚した。

その後、色々なところへ旅行に行った。日本だけでは飽き足らず、世界一周もした。

次は色々なものを買った。巷で噂になっているものを全て買った。

それに飽きてくると、今度はギャンブルに手を出した。

競馬、競輪、競艇、パチンコ、スロット、株、為替。

専門家を雇ってやったものだから、これが大当たり。金が増えるば

かりだった。

その金で、会社を設立したら良いという話を聞いて会社を建てた。

最初は小さな会社だったが、何故か業績が上がっていった、どんどん大きくなった。

その分の利益は、K氏の財布の中に溢れんばかりに入っていた。

パーっと使おうと思って、グルメに手を出した。

世界最高級の食材やらを買い求めて、それを五つ星のシェフに作らせた。

でもそれも腹が一杯になって飽きて、しばらくして止めた。

K氏の会社は既に一流の企業になっていた。社長をするのが面倒だったので代理を立てた。

今度は骨董品のコレクションをしようと思って、世界中の骨董品を集めようとした。

雇った骨董品の専門家が買ってきた骨董品の中に、プレミアがつくものがあった。

それをまた売って金にした。相当高く売れて、その金は会社に送った。

会社がどんどん大きくなっていった。世界をまたにかける大企業となった。

そのあとで、政治家たちがK氏の元へやってきて、賄賂を贈った。

K氏はその分だけ政治家の宣伝をしてやった。

それがバレても、マスコミを味方につけていたので揉み消した。全く問題は無かった。

ただ、その事を不満に思った輩がK氏を暗殺しようとした。

これは危ないと思って、身の回りを固めた。軍隊みたいな警備をおいた。

そうして安心していたら、K氏の妻が財産を持って夜逃げをした。

これもまずいと思って、絶対に空かない金庫を買った。

でもここで裏切り者があらわれた。軍隊みたいな警備隊たちが夜分に財産目当てに裏切った。

あわてたK氏は、信用の置ける部下と一緒にヘリコプターで逃げた。

財産は全て絶対に空かない金庫の中に入れたままにしていた。

命が危ないと言われて、偽名を使ってしばらくは世間に出ないことにした。

ほとぼりが冷めてから、K氏が豪邸へ行っても追い返された。部下もいなくなっていた。

金が無いとどうしようもないので、K氏は会社に勤める事にした。

うるさい上司と面倒な同僚がいる会社だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8044u/>

K氏の話

2011年10月9日09時08分発行